

投扇興

銘定表

平成二十六年
晩夏

改訂第参版

すえつむはな
5 末摘花 2点

3の状態、
扇-枕-蝶の順に
一直線に並ぶ

うめがえ
4 梅ヶ枝 4点

3の状態、
枕-扇-蝶の順に
一直線に並ぶ

はなちるさと
3 花散里 1点

扇と蝶が地に
落ちた状態

のわき
2 野分 過料50点

枕が倒れる
但し、蝶が立れば
過料なし

コツリ
1' コツリ 過料1点

要側が枕に当る

てならい
1 手習 無点

蝶は倒れず、
扇が地に落ちる

はなのえん
11 花宴 15点

蝶の鐘のみが
枕の上面に残る

まつかぜ
10 松風 8点

蝶が枕の上で
倒れる

あおい
9 葵 5点

6の状態
で両裾上がり

ふじばかま
8 藤袴 4点

6の状態
で要は上
になり枕の幅に
収まる

うすぐも
7 薄雲 3点

6の状態
で扇は
親骨の地紙部分
のみで立つ

せきや
6 関屋 2点

蝶は倒れず
扇が枕にもたれる

さかき
17 賢木 9点

扇が枕にもたれた
下に蝶が入る

やどりぎ
16 宿木 10点

枕にもたれた扇に
蝶が重なる
(上下問わず)

すま
15 須磨 10点

12の状態
で扇-枕-蝶の順に
一直線に並ぶ

たけかわ
14 竹河 15点

12の状態
で両裾上がり

あげまき
13 総角 5点

12の状態
で扇は
親骨の地紙部分
のみで立つ

みゆき
12 行幸 3点

蝶が地に落ち
扇が枕にもたれる

かしのぎ
24 柏木 10点

蝶が要に重なる
(上下問わず)

すずむし
23 鈴虫 9点

中骨に蝶が
半分以上隠れる

あさがお
22 朝顔 9点

中骨に蝶が
半分以上乗る

ゆうぎり
21 夕霧 8点

地紙の下に
蝶が半分以上
隠れる

ゆうがお
20 夕顔 8点

地紙の上に
蝶が半分以上
乗る

えあわせ
19 絵合 3点

蝶が地紙の縁に
半分未満重なる
(上下問わず)

もみじのが
18 紅葉賀 4点

蝶が扇の親骨に
半分未満重なる。
(上下問わず)

あずまや
31 東屋 15点

29の状態
で扇-枕-蝶の順に
一直線に並ぶ

におうのみや
30 匂宮 17点

29の状態
で枕-扇-蝶の順に
一直線に並ぶ

さわらび
29 早蕨 14点

蝶が地で立つ

はつね
28 初音 15点

25の状態
で要は上
になり枕の幅に
収まる

わかな
27 若菜 25点

25の状態
で両裾上がり

くもがくれ
26 雲隠 7点

25の状態
で扇は
親骨の地紙部分
のみで立つ

とこなつ
25 常夏 5点

扇は枕にもたれ
蝶は枕の上で倒れる

しいがもと
34 椎本 25点

32の状態
で要は上
になり枕の幅に
収まる

はしひめ
33 橋姫 30点

32の状態
で扇は
親骨の地紙部分
のみで立つ

わかむらさき
32 若紫 15点

蝶は地で立ち
扇は枕にもたれる

かげろう
41 蜻蛉 40点

38の状態
で扇が両裾上がり

ふじのうらは
40 藤裏葉 45点

38の状態
で扇-枕-蝶の順に
一直線になる

まぼろし
39 幻 20点

38の状態
で扇は
親骨の地紙部分
のみで立つ

うつせみ
38 空蝉 17点

扇は枕にもたれ
蝶は鐘の部分のみ
枕の上面に残る

こうばい
37 紅梅 60点

32の状態
で枕-扇-蝶の順に
一直線に並ぶ

あかし
36 明石 20点

32の状態
で扇-枕-蝶の順に
一直線に並ぶ

たまかざら
35 玉鬘 30点

32の状態
で両裾上がり

おとめ
45 少女 65点

扇が枕の上
に蝶は鐘の部分のみ
枕の上面に残る

きりつぼ
44 桐壺 75点

扇が枕の上
に蝶が地立つ

ははきぎ
43 帚木 80点

枕の上
に扇と倒れた蝶が乗る
(上下問わず)

みおつくし
42 濡標 55点

扇が枕の上
に乗った状態

ほたる
51 蛍 45点

枕にもたれた
扇に蝶の鈴ひもが
引っかかる

みのり
50 御法 95点

枕にもたれた
扇の地紙に
蝶が引っかかる

まきばしら
49 真木柱 25点

枕にもたれた
扇の中骨に
蝶が引っかかる

よもぎう
48 蓬生 35点

地で立つ蝶の上に
扇がかぶさる
(両裾上がり
なら50点)

よこふえ
47 横笛 60点

中骨の部分
で蝶が立つ

うきふね
46 浮船 20点

地紙の上
で蝶が立つ

投扇興 美扇流
<https://sites.google.com/site/tousenkyou/>

ゆめのうきはし
54 夢浮橋 100点

扇が枕と地
で立つ蝶に
架かり地に接して
いない

こちょう
53 胡蝶 85点

枕に乗った扇の
上で蝶が立つ

かがりび
52 篝火 90点

枕に乗った扇から
蝶が吊られる